

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

平成 29 年 5 月 18 日 (木) 15:30~16:30 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

3. 特別展関連ギャラリートーク『『ビーズ』をもっと深く知ろう』

[詳しくはこちら](#)

開館 40 周年記念特別展「ビーズ—つなぐ・かざる・みせる」関連イベントとして、5 月 20 日 (土) から閉幕までの毎週土曜日及び日曜日にギャラリートークを開催します。貝や石、ガラスといった多様なビーズ素材や、織り物との関係等について、それぞれの分野の専門家が解説します。ぜひご参加いただき、ビーズについての理解をより深めましょう。



日 時：5 月 20 日 (土) から閉幕までの毎週土曜日、日曜日
各回約 30 分
場 所：特別展示館等
参加費：無料 (要展示観覧券)

— 池谷 和信 (人類文明誌研究部 教授) —

4. 音楽の祭日 2017 in みんな

[詳しくはこちら](#)

国籍、年齢、性別を超えて、音楽を愛するすべての人が無料で参加できる市民参加型の一大音楽イベントです。2003 年以来、今年で通算 15 回目の開催となります。プロアマ、ジャンルを問わず、日本を含む世界の楽器を使った音楽パフォーマンスをする方たちが出演します。みんなで世界の楽器を持ち寄って音楽で友好を深めます。

日 時：6 月 18 日 (日) 10:25~16:35 (開場 10:00)
場 所：国立民族学博物館 特別展示館、エントランスホール (本館 1 階)
参加費：無料
(本館展示をご覧になるには、観覧券をお買い求めください。)
主 催：国立民族学博物館
主 管：音楽の祭日 日本事務局



— 出口 正之 (人類基礎理論研究部 教授) —

5. データベースの公開について

詳しくはこちら

本館では、所蔵資料をはじめ、さまざまな研究資料や研究成果の情報をデータベース化し、館内外に広く提供しています。平成 29 年 3 月に、以下の 3 件のデータベースを館外公開しましたので、ご紹介いたします。

・ **アフリカ カメルーン民族誌写真集 一端信行コレクション**
<http://htq.minpaku.ac.jp/databases/cameroon/>
本館名誉教授・一端信行の、おもにアフリカ・カメルーン共和国における、1969 年から 90 年代のはじめにかけての数度にわたる民族学的調査の過程で撮影された約 6,500 点の写真資料です。



・ **西太平洋およびインド洋を中心とする海洋民族写真資料—大島襄二写真コレクション**
<http://htq.minpaku.ac.jp/databases/ohshima/>
大島襄二氏（1920～2014 年）が、1967 年～1991 年にかけてアジアや大洋州などを調査した時の記録写真の一部を収録したものです。

・ **沖守弘インド写真データベース（英語版）**
<http://htq.minpaku.ac.jp/databases/moindia/english/>
写真家沖守弘氏が、1977 年から 1996 年までにインドやネパールで撮影した祭礼、芸能、工芸や人びとの暮らしなどに関する写真約 20,000 点についての情報の英語版です。

— 岸上 伸啓（学術資源研究開発センター 教授） —

6. 研究紹介

詳しくはこちら

「文化人類学—人類を探求し、新たな人間観を創出する学問」

（岸上伸啓 著／風土デザイン研究所）

— 岸上 伸啓（学術資源研究開発センター 教授） —

「アンデス文明—神殿から読み取る権力の世界」

（関雄二 編／臨川書店）

— 関 雄二（副館長） —

「物質性的人类学—世界は物質の流れの中にある」

（古谷嘉章、関雄二、佐々木重洋 編／同成社）

— 関 雄二（副館長） —

「Reducciones: la concentración forzada de las poblaciones indígenas en el Virreinato del Perú」 （邦題：レドゥクシオン—ペルー副王領における先住民の強制的集住化）

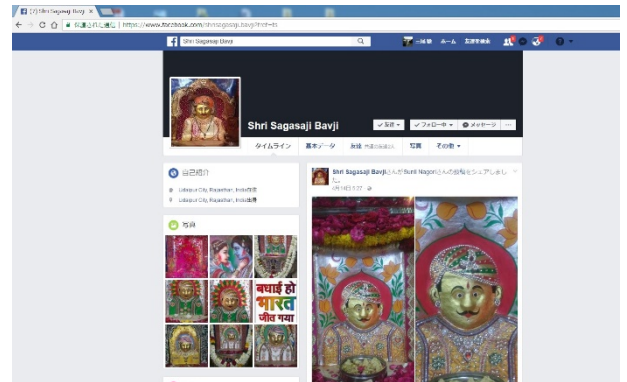
（Akira Saito y Claudia Rosas Lauro 編／教皇庁立ペルーカトリック大学出版会）

— 齋藤 晃（人類文明誌研究部 教授） —

7. 研究こぼれ話

Facebook に現れたインドの神

宗教団体が SNS を活用する例は世界各地で数多く、それは IT 大国インドも同じです。しかし、ある特定の地方でのみ知られる神が Facebook に現れて、神の名で「ともだち」を増やしたり、「いいね」を集めたりする例は稀です。私はこの神と「ともだち」になり、調査を重ねています。今回はこの現象の背景にあるインドの社会や宗教の変化の状況についてお話しします。



Facebook で「ともだち」をふやすインドのローカルな神、サガスジ

— 三尾 稔（グローバル現象研究部 准教授） —

※その他の配布資料
外国人研究員新規受入一覧(資料 7)、刊行物報告書(資料 8)